

交通網問題対策等調査特別委員会 会議記録

- 1 期 日 令和6年9月20日（金）
午前9時23分 開会
午前10時10分 閉会
- 2 場 所 第3委員会室
- 3 出席委員 委員長 太田 智博
副委員長 荒木 慎太郎
委員 芦田 竹彦、清水 寛、
須山 泰一、芹澤 正志、
松井 正志
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明員 (別紙のとおり)
- 6 傍聴議員 なし
- 7 事務局職員 主事 菅谷祐一
- 8 会議に付した事件 (別紙のとおり)

交通網問題対策等調査特別委員長 太田 智博

交通網問題対策等調査特別委員会 次第

日 時：2024年9月20日(金) 9:30～

場 所：第1委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

(1) 委員会所管事項の現状について

【市長公室】 経営企画課

【都市整備部】 建設課、都市整備課

(2) 運転免許返納について

【くらし創造部】 生活環境課

【都市整備部】 都市整備課

(3) 委員会の運営方針について

委員会重点調査事項

(4) 委員会調査中間報告書（案）について

(5) 管外行政視察調査報告書（案）について

4 閉 会

交通網問題対策等調査特別委員会名簿

【委員】

2024年9月20日現在

職名	氏名
委員長	太田 智博
副委員長	荒木 慎一郎
委員	芦田 竹彦
委員	清水 寛
委員	須山 泰一
委員	芹澤 正志
委員	松井 正志

【当局】

職名	氏名	職名	氏名
市長公室長	谷口 雄彦	城崎振興局 地域振興課参事	橋本 郁夫
経営企画課長	真狩 直哉	竹野振興局 地域振興課参事	森口 佳徳
都市整備部長	富森 靖彦	日高振興局 地域振興課参事	上野 和則
建設課長	久田 涉	出石振興局 地域振興課参事	神谷 謙二
建設課参事	堀田 政司	但東振興局 地域振興課参事	大岸 勝也
都市整備課長	堂垣 俊裕		
都市整備課参事	武中 孝寛		
生活環境課長	和田 哲也		

12名

【議会事務局】

職名	氏名
議会事務局主事	菅谷 祐一

交通網問題対策等調査特別委員会設置要綱

1 設置の目的

豊岡市の基幹交通網の整備をはじめ、市民生活の利便性等を高めるための公共交通機関の諸課題等について調査を行うため、地方自治法第109条及び豊岡市議会委員会条例第5条の規定に基づき、特別委員会を設置する。

2 委員会の名称

交通網問題対策等調査特別委員会

3 委員の定数

8名

4 付議事件

- (1) 北近畿豊岡自動車道、山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）、但馬空港及び鉄道に関する調査研究等
- (2) 路線バス等地域公共交通に関する調査研究等

5 委員会の設置期間

調査完了の時期まで

6 調査の経費

議会費の中で議長の定める額

7 その他

設置期間中、議会の閉会中も継続調査できるものとする。

交通網問題対策等調査特別委員会重点調査事項

2024. 9. 20

1 高規格道路に関する事項

- 北近畿豊岡自動車道の事業推進に関する事
- 山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）の事業推進に関する事

2 但馬空港に関する事項

- 空港の利用促進並びに支援体制に関する事
- 東京直行便の実現に向けた事業推進に関する事

3 バス交通に関する事項

- 路線バス等公共交通の充実と利用促進に関する事
- スクールバスに関する事

4 鉄道交通に関する事項

- 鉄道交通の維持・存続並びに利用促進に関する事

5 新たな交通サービスに関する事項

- 自家用有償旅客運送等に関する事

午前9時23分開会

○委員長（太田 智博） 定刻より少し早い時間ではございますが、芦田議員はちょっと遅刻をするというような連絡はございましたので、メンバーおそろいですので、ただいまから交通網問題対策等調査特別委員会を開会をしたいというふうに思います。

まず、委員長挨拶ということでございますけど、昨日、知事の不信任決議案が全会一致で可決されたというニュースが、今日、朝から飛び交ってる内容で、これから、兵庫県知事でもございますので、10日間どういう判断をされるのか注視をしていきたいというふうに思っておりますし、また、今日、朝から大谷選手が三打席連続ホームランということで、51-51を達成をされたというふうなニュースも飛び交っております。大変日本人の活躍を目をみはるばかりでございますが、人間には改めて限界はないんだなということを再認識をさせていただきました。

余談はさておきとしまして、審議のほうに入っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いをしたいと思います。

それでは、協議事項に入ります。

協議事項に入ります前に連絡をさせていただきます。委員会中の発言につきましては、必ず委員長の指名を受けてから、マイクを使用し、発言の最初に課名と名字をお願いをしたいと思います。

まず、（1）委員会所管事項の現状についてを議題といたします。

委員の皆さんは、SideBooks上のフォルダー、交通網問題対策等調査特別委員会2024.09.20の中に配信しておりますので、資料をご確認願います。

それでは、経営企画課、建設課、都市整備課の順で説明をお願いをしたいと思います。

真狩課長。

○経営企画課長（真狩 直哉） 資料の2ページをご覧ください。市民の移動の在り方検討についてです。そちらの資料に記載している内容につきましては、6月と同じ内容となっております。進捗状況の記載

の中にある自分ごと化会議についてですが、7月7日に「バス交通をリデザインする～誰もが気軽に移動できる地域を共に考える～」をテーマに、第1回目の自分ごと化会議があり、経営企画課未来共創室、都市整備課、学校教育課、高年介護課からそれぞれ担当している分野の現状を説明しました。

経営企画課未来共創室からは、今後の人口の推移について説明をしています。第1回目を受けて、9月1日に第2回目の自分ごと化会議で参加の皆さんから意見を言っていただく流れとなっておりますが、台風の影響により自分ごと化会議が延期となりました。

進捗状況の中では、自分ごと化会議における市民の意見を踏まえてという、その意見を踏まえて庁内検討会議を行いたいというふうにしておりましたが、延期となりましたので開催を待つことなく、まずは、庁内検討会議は行うこととして進めております。その後の庁内検討会議において、自分ごと化会議で出された意見を踏まえた内容にしていければというふうに考えております。

説明は以上です。

○委員長（太田 智博） 久田課長。

○建設課長（久田 渉） 引き続きで、3ページをご覧ください。北近畿豊岡自動車道の事業促進についてです。

前回、6月24日からの進捗としましては、例年どおりではありますが、北近、山近の早期実現促進大会を8月3日土曜日に約800人規模で開催しております。その中で、国土交通省の山本道路局長からも、これだけの規模の大会を30年以上継続開催しているのは全国的にも例がないということで、大変素晴らしいという評価をいただいております。最後には、西村新温泉町長のほうからのがんばろう三唱をもって盛大に幕を閉じたところです。

それから、先日16日には、いよいよ北近畿豊岡自動車道、豊岡道路の開通記念イベントが豊岡出石インターチェンジをメイン会場として、午前の10時から午後3時まで開催しております。当日は約2,000人の方が参加をされました。当日は往復

約3キロのトンネル・橋梁ウォークをメインに、飲食物販や森林組合による木工体験など、14ブースと3台のキッチンカーに加え、国土交通省の災害車両やパネル展示、兵庫県のパトロール車両、県警のパトカー、白バイなどの試乗なども催され、猛暑の中ではありましたが、参加者の方からは、なかなか高速道路を歩く機会はないということで貴重な体験などと意見も聞かれ、一定の開催効果はあったものと考えているところでございます。

次に、いよいよ豊岡の市街地に高規格道路が延伸される日を迎えることとなりました。来週の月曜日、23日には、北近畿豊岡自動車道、豊岡道路の開通に伴います開通式典並びに昼食会が開催をされる予定です。開通式典は、国会議員、県議員、関係自治体首長、国県関係者などを中心に出席者約300名を予定しており、戸牧トンネル内で午前10時より開催予定となっております。その後、国会議員をはじめ、各首長さん方の約30名の方におかれましては、通り初めの後、会場をコウノトリ但馬空港へ移し、12時より昼食会が開催される予定となっております。

ちなみに、当日の通行開始の時間は夕方4時ということで国のほうより伺っております。

それから、最後に、要望活動についての報告です。こちらにつきましても、例年のことではありますが、当該道路の必要性を強くアピールすべく、国交省、財務省、近畿地方整備局への要望活動が10月の15と16日、両日の日程で行うこととなりましたので、報告いたします。

北近の関係は以上です。

次に、5ページをご覧ください。引き続き山陰近畿自動車道の事業促進についてです。こちらにつきましては、前回6月以降の進捗について特段はございません。先ほどの北近畿豊岡自動車道の事業促進と重なりますが、8月に開催しました早期実現促進大会並びに10月に予定している要望活動、今回の報告内容となります。

いずれにしましても、北近の残りの区間もさることながら、山陰近畿自動車道につきましても、県施

工の竹野道路、国の直轄代行による城崎道路の両輪で強力に事業推進することにより、早期完成できるよう、本市としましても用地取得に係る事務など、市として協力できる部分があれば全力で取り組んでまいります。

建設課からは以上です。

○委員長（太田 智博） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 都市整備課からは、6月からの進捗状況について説明させていただきます。

7ページをご覧ください。空港の利用促進と利便性の向上についてです。

まず、現況と課題についてです。赤字の追記部分を中心に説明します。コウノトリ但馬空港の8月末時点の利用者数は、昨年同期と比べて2,374人減の1万3,543人となっております。4月から6月下旬までの航空運賃の値上げが影響したものと考えています。6月下旬以降の運賃は昨年度と同水準に戻っており、8月は昨年度を僅かですが上回る結果となっております。引き続き利用回復に向けて、さらなる利用促進に努める必要があると考えています。

次に、進捗状況です。大項目1つ目の運賃助成や小学校社会見学事業による利用の促進についてです。空港運賃助成事業につきましては、6月から2,089件増の3,074件、小学生飛行機体験搭乗事業は、6月から9件増の15件、小学校社会見学事業は、2校94件増の4校123件など、8月末現在の合計で、6月から2,144件増の3,324件となっております。

次に、大項目2つ目の、但馬空港開港30周年記念事業や大阪・関西万博に向けた取組の実施についてです。

まず、(1)30周年記念事業、小・中・高・大学無料キャンペーンにつきましては、6月から161件増の212件となっております。この事業につきましては、利用者数が想定よりも少なかったことから、対象搭乗期間を来年の4月7日まで延長しております。

次に、(4) JALサマーキャンプの誘致につきましては、7月29日から8月2日の期間で、株式会社類設計室が運営するフリースクールや塾などに在籍する8名の生徒に参加していただいています。

次に、8ページをご覧ください。(5) ひょうごフィールドパビリオン体験IN豊岡の実施につきましては、伊丹市の小学生及び同伴者31名に参加いただいています。

次に、大項目3つ目の、関係機関・団体と連携した東京直行便開設へ向けた取組の実施につきましては、予定どおり7月5日に鹿児島県のJAC及び東京都のJALへ要望活動を実施しております。

大項目4つ目の、他団体や航空会社との連携したPR活動、利用促進策の実施についてです。

(1) JALコウノトリフォトコンテストにつきましては、8月31日時点で143件の応募がありました。表彰式につきましては、10月19日に開催の空の日スペシャルイベントに合わせて実施する予定にしています。

次に、(3) あべのハルカスで実施された、ひょうご豊岡フェアにおいて、コウノトリ但馬空港のPRを実施するとともに、NPO法人但馬國出石観光協会との共同による但馬路線利用者への出石皿そば巡り割引クーポンを配布しています。

次に、9ページをご覧ください。バス交通の充実と利用促進についてです。こちらにつきましても、6月以降の進捗状況について説明させていただきます。

概要及び進捗状況の大項目2つ目、地域の実情に応じた交通体系とネットワークの構築につきましては、竹野地域交通再編に向けた意見交換会を、区長会及びコミュニティの役員を対象に4月から5月にかけて実施し、6月24日には竹野地区、中竹野地区、竹野南地区の3地区合同の意見交換会で、竹野地域交通再編に向けた準備会を発足し、8月6日に第1回準備会を開催しています。

次のイ、竹野南地区新交通モード実証運行の実施につきましては、10ページをご覧ください。7月末での稼働率は20.8%、延べ利用者数は356

人となっております。

次に、高橋地区通学おでかけ支援施策検討会への参画についてです。こちらは地域ができる通学、お出かけ施策を考える但東・高橋地区コミュニティ開催の検討会に参画しているものです。参画した検討会の内容については記載のとおりです。

次に、大項目4つ目の運行事業者、地域と協働したモビリティ・マネジメント及びバス利用の機運醸成を図るイベントなどの実施です。

まず、アの市職員の市内移動及び但馬管内等への出張に係る公共交通利用については、6月から34人増の、延べ105人の利用がありました。

次の、イの豊岡ノーマイカーデーの実施についてです。販売枚数は、こちらも6月からの進捗ですが、第2水曜日で156枚増の358枚、第4金曜日で158枚増の261枚、計314枚増の619枚となっております。今後も引き続き、幅広く周知していきたいと考えております。

次に、オ、豊岡病院通勤者及び来院者へのアンケート調査の実施についてです。豊岡出石インターの開通に伴い、懸念されております交通渋滞への対応策を検討するため、公共交通利用に対する意識調査を実施しています。調査期間は8月26日から10月31日までとしております。

次に、カ、全但バス株式会社乗合事業課との勉強会の実施につきましては、路線バスをはじめとした市内バス交通に係る課題や利用促進について、検討、意見交換を行うため、勉強会を定例で実施しております。

次に、11ページをご覧ください。最後に鉄道交通の利用促進についてです。こちらにつきましても、6月以降の進捗状況について説明させていただきます。

概要及び進捗状況の大項目1つ目、JR山陰本線の維持存続に向けた取組の実施です。(1) 維持存続に向けた機運醸成と利用促進策の実施についてです。まず、アの乗って守ろう!竹野駅ペイの実施です。こちらは昨年度開催されましたJR山陰本線利用促進策創出ワークショップで発案された取組

で、昨年度に引き続き実施しております。7月末の発行枚数は5月から7, 587枚増の1万6, 067枚、利用枚数は6, 494枚増の8, 569枚となっております。

12ページをご覧ください。次に、オの協議会等での協議の状況については記載のとおりです。

次に、大項目2つ目の京都丹後鉄道の運行支援です。(1)沿線自治体と連携した利用促進策の実施につきましては、沿線自治体及び関係団体等で組織する京都丹後鉄道利用促進協議会事業の推進を図っており、取組内容については記載のとおりです。

13ページをご覧ください。(3)協議会等での協議のオ、京都丹後鉄道踏切対策協議につきましても、昨年4月に発生した踏切死亡事故を踏まえ、踏切の安全対策を協議しております。

次に、エ、宮津線100周年記念事業実行委員会につきましては、沿線自治体や京都丹後鉄道利用促進協議会と連携し、宮津線100周年記念事業を実施しております。

ちなみに、宮津線の豊岡久美浜間の100周年は5年後の2029年となります。その他の項目については記載のとおりです。

都市整備課からの説明は以上です。

○委員長(太田 智博) 説明終わりました。

質疑、意見等はございますでしょうか。

芹澤委員。

○委員(芹澤 正志) 今の鉄道、赤字路線の減少についてなんですけど、相当、城崎温泉－浜坂区間がさらに厳しくなってるみたいなので、数字的なもので何か、どのぐらい年々落ちてるか、そういうものって分かりますか。

○委員長(太田 智博) 堂垣課長。

○都市整備課長(堂垣 俊裕) 乗車人数等についてはJRが公表していないので、はっきりとした数字がちょっと述べられないっていう状況です。

○委員長(太田 智博) 芹澤委員。

○委員(芹澤 正志) 何か相当、2割ぐらい年々落ちてるみたいで、本当に学生しか乗ってないいうことを聞いてるんで、ちょっとやばいなって思っ

して、さらなる何か策が必要かなって思ってますので。はい、分かりました。

○委員長(太田 智博) ほかがございませんか。

須山委員。

○委員(須山 泰一) 今の乗車人数は調べて、JRに問い合わせしてほしいですね。それに関しては、堂垣課長も行かれた鳥取に、この前、交通網で管外視察に行った際に、駅を中心としたまちづくりってされててね、そういう意味では、竹野のことも書いてますけど、城崎、竹野、豊岡、江原と、JRの4つの駅、そういう駅を中心としたまちづくりというような位置づけを豊岡でもしてほしいなと思いました。

もう一つ、京都丹後鉄道、コウノトリの郷駅いうのもあるっていうのは、ちょっとあまりそっち側使ったことないんであれですけど、駅を中心としたまちづくりってええなと思いました。

それで、聞こうと思ったのは、最初、自分ごと化会議、第1回されたということで、出された意見を踏まえて庁内検討会議を行うということでした。出された意見の特徴みたいなものがあれば教えていただきたいですね。取りあえず、以上で。

○委員長(太田 智博) 庁内検討会議の内容。

○委員(須山 泰一) そうですね。ウェブでもまだ見れるんですよ、多分。ちょっと見てなくて。出された意見、特徴とかあれば教えていただきたい。

○委員長(太田 智博) 真狩課長。

○経営企画課長(真狩 直哉) 直接自分ごと化会議を所管してはいないのですが、広報等にも載せてはいるんですけども、まず、第1回目のときには今の現状説明をそれぞれの部署からさせていただきました。それを聞いた上で、参加者の皆さんから出たその時点での意見といいますのは、よくありますけども、介護施設等の送迎車両の空き座席などをうまく利用できないかですとか、スクールバスに一般客が同乗できないかとか、あと、チクタクのように運転ができる市民をドライバーとして登用できないかといったような意見が出ていました。

現状等を説明しましたので、第2回目、そのときには、実際に参加されている市民の皆さんから、こ

うというようなことをしてはどうだっというふうな提案が出てくるものかなというふうに思っています。それらを聞いた上で、また次の庁内検討委員会で、こういう意見が出ていたけどもどうだろうかというふうな検討をしていくというふうな流れになると考えております。以上です。

○委員長（太田 智博） 須山委員。

○委員（須山 泰一） どっかで一回報告受けたんかもしれんけど、参加した方はどのような方が参加されてたんか、人数とか。自主的に来られたんですかね、誘って、案内して来られたんか、そこら辺のちよつと説明を。

○委員長（太田 智博） 真狩課長。

○経営企画課長（真狩 直哉） 無作為抽出によりまして出された方の中から行くよというふうな方というふう聞いております。当日参加されたのは16名というふうになっております。以上です。

○委員長（太田 智博） 須山委員。

○委員（須山 泰一） 無作為抽出で案内を送って16人来ていただいたということですね。

○経営企画課長（真狩 直哉） おっしゃるとおりです。

○委員（須山 泰一） 分かりました。取りあえずいいです。

○委員長（太田 智博） ほかはございませんか。

すみません、私から1点、いいですか。

8ページなんですけど、東京直行便開設へ向けた取組ということで、これ多分、毎年要望書を出されてるんですけど、実際問題、本会議なんかでも滑走路の延長だとか、多額なお金がかかるのでなかなか直行って難しいんじゃない、現実的にという話は県の中でも市の中でもされてると思うんですけど、毎年この要望書出されてて、何かちよつと進歩みたいなのはあるのか、現状どんな雰囲気なのか、ただ要望書だけ出されて終わりになってるのか、説明できる範囲で結構ですので、もし教えていただけたらお願いをしたいと思っておりますけど、いかがですか。

堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 目に見えた進捗って

いうのは、ちよつと正直ございません。要望会の中では、今どんな取組をしてるのかっていうことを豊岡市と但馬空港利用促進協議会のほうからちよつと説明させていただいて、JALさんやJACさんのほうからもいろいろ、就航率がちよつと全国平均に比べると悪いとかいうことがありますので、その辺の改善の話とか、そういったことはしていただけてます。直行便に向けて具体的にどうこうっていうところまでは、まだ現在、至っておりません。

○委員長（太田 智博） 分かりました。ありがとうございます。

ほかにございませんか。

清水委員。

○委員（清水 寛） 1点。あべのハルカスのほうでのフェアをされて、割引クーポンを配布されたってことなんですけども、実際クーポンの利用状況というのの把握っていうのはされたりっていうのはあるんでしょうか。今は、これ、配布しましたっていうところまでなんですけども。

○委員長（太田 智博） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 現時点では、まだ割引クーポンを利用したっていうことの、後で請求が来るんですけど、それは、まだ現時点でも来ておりません。

○委員長（太田 智博） 清水委員。

○委員（清水 寛） そしたら、取りあえずクーポンを配布して、その利用実績っていうのは後で、逆に言えば、市のほうから幾らか予算をして、請求が観光協会とかから来るというような感じの仕組みになってるということですか。

○委員長（太田 智博） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） おっしゃるとおりです。

○委員長（太田 智博） ほかにございませんか。

芹澤委員。

○委員（芹澤 正志） 路線バスなんですけども、来年、城崎大橋開通に伴って、右岸のバス運行について、豊岡側から玄武洞まで来てるんですけども、要するに城崎からずっと玄武洞、それからコウノトリ

の郷公園、今課題となってる郷公園の活性化と、あと、出石のインバウンドの事業の拡大というために、非常にその路線って重要になってくるし、人の流れがすごい大きくなってくると思うんですけど、どうも全但バスに聞いたら検討するって言って、結局なしになりましたといったこと、一応返事は来てたんですけど、市からそういう働きかけというのはされたんでしょうか。

○委員長（太田 智博） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 私も、そのなしになったってことはちょっと聞いてなくて、今は左岸しか走ってないんですけども、ちょっと城崎大橋が開通した暁には、当然、右岸も見据えて、全但バスと、先ほどもちょっと説明しました意見交換会みたいところで、どういう運行がいいのかってところは検討はしているところです。

○委員長（太田 智博） 芹澤委員。

○委員（芹澤 正志） そうですか。うわさ程度だったと思うんですけど、まだそういう検討の余地があるんじゃないかと。かなり出石の集客にすごいつながってくると思います。先ほど言いましたコウノトリの郷公園についても、昔みたいなにぎわいができるんじゃないかなと思ってますので、ぜひとも強く押ししていただければと思います。

○委員長（太田 智博） いいですか。

○委員（芹澤 正志） はい。

○委員長（太田 智博） ほかがございませんか。

では、ほかありません、ないようですので、以上で委員会所管事項の現状については終わりたいと思います。

次に、（２）運転免許返納についてです。

それでは、生活環境課、都市整備課の順で説明をお願いします。

和田課長。

○生活環境課長（和田 哲也） お配りしてます資料につきましては、高齢運転者による免許返納についてということでお配りしています。市では、高齢者の運転免許証の自主返納につきましては、高齢運転者の交通事故の防止につながりますので、自動車の

運転に不安がある高齢者の方に対しまして、免許証の返納につきましてホームページに掲載しております。それがその資料でございます。

実際には、本市も加盟しております高齢者運転免許自主返納サポート協議会が主体となり行っております。当協議会につきましては、警察の主導によりつくられたもので、企業、団体及び自治体で構成をしています。協議会では、自主返納をする際に申請すれば交付される運転経歴証明書の提示により、加盟団体等から受けられる支援についてお知らせをし、運転免許を自主的に返納しやすい環境づくりを進められておられます。

豊岡市内では、全但バスの路線バス乗車運賃が半額になるですとか、城崎温泉の外湯の入浴料金の割引を受けられるような特典がございます。

生活環境課関連部分につきましては以上でございます。

○委員長（太田 智博） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 都市整備課から、免許返納者の減額についてちょっと説明させていただきます。

豊岡市の有償旅客運送、イナカーとチクタクなんですけども、その免許返納者の運賃の減額につきましては、昨年10月12日に豊岡市地域公共交通会議にてご承認いただき、10月25日から市広報の掲載、車内の謹告、市ホームページの掲載や行政無線等により周知しております。その後、11月1日から運用を開始しております。

運転経歴証明書の提示による運転割引適用者につきましては、資料をちょっと見ていただきたいんですけども、資料出てますでしょうか。まず、この資料の説明をさせていただきます。

1の路線バスです。路線バスにつきましては、年に2回、乗降調査を全但バスのほうが実施して、その結果、全路線でご覧の数字、その横に市内路線ってあるんですけども、市内の営業所の運行路線でどれぐらいの方が利用されたか。これ、あくまで6月と10月に1日ずつしか乗降調査はしていないので正確な数字ではないんですけども、乗降調

査した日にちに実際利用された方、それに365日を掛けたのが延べの人数を試算ということで表示しております。

次の、市営バス「イナカー」です。イナカーにつきましては、4月から7月まで実際どれぐらいの方が使われたかっていうことを表にしております。こちらにつきましては、延べ人数ということは把握できてるんですけども、実際、実数ということは、ちょっと推定にこれはなってしまうんですけども、大体どれぐらいの方が延べどれぐらい使っているかっていう数字をお示ししております。

次の、3の地域交通チクタクです。こちらは登録制で運行してるということなので、実数と延べ数というのは実際の数字になっております。

次の表ですけども、参考として申請の取消しの取扱いの状況ってということで、これ、上の表については警察のほう公表されてる数字です。全県下で、2023年度でしたら1万7,938人の方が免許返納されて、65歳以上の比率が95.5%ということになります。その下が豊岡市の警察の管内の免許返納された方の人数を表にしております。

都市整備課からの説明は以上となります。

○委員長（太田 智博） 説明は終わりました。

質疑、意見等はありませんでしょうか。

清水委員。

○委員（清水 寛） 免許返納についてなんですけども、たしかそのまま免許証を持って失効してしまうケースもある、高齢の方はもう更新せんでもいいわって思って、そのまま持っておられるっていうケースがあると思うんですが、その場合は免許返納にならないってお聞きしたんです。そういう意味では、せっかくこういう制度があっても失効してしまったら使えないわけですから、その辺について、やっぱりちょっと周知する必要があるかなと思うんですが、そういった点についてどのようにお考えでしょうか。

○委員長（太田 智博） 和田課長。

○生活環境課長（和田 哲也） 委員おっしゃいますように、失効された方については自主返納扱いには

当然ならないということで、私もちょっと最近知りまして。実際、県警のほうでされてるサポート協議会というところで実態上されていますので、と言いながら、市のほうもホームページに掲載をしている中で、そのホームページの内容を変更をといたしますか、そういった情報が伝わるようなホームページの内容にしていくということも検討していきたいと思います。以上です。

○委員長（太田 智博） 清水委員。

○委員（清水 寛） 基本的には、やっぱり知ってもらって使ってもらってということが第一かなと思いますし、特に高齢者の方の事故っていうのもなくなってない状況だと思いますから、そこら辺も含めて、しっかりとしていただけたいです。

○委員長（太田 智博） ほかがございませんか。
須山委員。

○委員（須山 泰一） 免許返納の資料を出していただきましてありがとうございました。

僕の問題意識は、豊岡の免許返納の状況が、例えば都会に比べたら、やはり公共交通がもう大きく違うんで、免許返納しにくいというのが僕は想像してまして、どうなんだろうと思って。今ちょっと、これ、調べてみたら、出していただいた表で考えたら、今ぱっと調べた数で言ったら、ちょっと間違ってるかもしれんけど、2015年の数字ですけど、65歳以上、兵庫県では148万人おって豊岡が2万6,000人と、豊岡が1.7%ぐらいおるんです。この免許返納でいったら、2023年は1万7,938人で、豊岡は186人なので1.0%ぐらいだと思うんです。だから、高齢者は率でいえば1.7%、県内に豊岡はおるんだけど、返納者の数でいったら8%やと。だから、やはり返納しにくいを表す数字じゃないかと。2022年で言ったら1%に届いてないじゃないですか、県の中で返納してる割合が2万に対して197だったら。これ、65歳以上です、今言ったのは。

人口に対してだと、さっきちょっと調べたら、兵庫県が546万ぐらいおって豊岡が7万4,000ぐらいなのでね。豊岡の人口率は大体1.3か4な

んですよ。1. 3%ぐらいにして4%。だけど、この免許返納してる人の割合は1. 0%ぐらいで、やっぱり返納しにくいというのが表れてるんじゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。

○委員長（太田 智博） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 確かに委員おっしゃるように、神戸とか京阪神に比べると交通の便は間違いなく悪いので、そういったことはあるかと思っています。

○委員長（太田 智博） 須山委員。

○委員（須山 泰一） やはりお金かかって大変な話ですけど、もちろん都会のようにはいかないですけども、高齢率も高いわけですし、公共交通でできるだけ移動がカバーしてもらえるように、都会以上にお金も、割合としてかけないけないでしょうし、県や国に求める際にも、こういうことも、きちんとデータ使って要望してほしいなというところです。

○委員長（太田 智博） 今は意見。

○委員（須山 泰一） お答えいただきたいです。

○委員長（太田 智博） どの部分を答えたらいいですか。

○委員（須山 泰一） 要望してほしいということ。

○委員長（太田 智博） 要望してほしい。

○委員（須山 泰一） はい。

○委員長（太田 智博） 堂垣課長。

○都市整備課長（堂垣 俊裕） 要望はしていったらいいと思っていますので、なるべく市の負担が少ないようにはちょっと考えていきたい思います。

○委員長（太田 智博） いいですか。

○委員（須山 泰一） はい。

○委員長（太田 智博） ほかがございませんか。
芹澤委員。

○委員（芹澤 正志） 免許の証明書の発行なんですけども、結局、証明書の発行だけは本署に行かないとしてももらえないんです。だから、例えば城崎だったら毎週火曜日に免許の更新だとかそういうことはしてくれるんですけども、返納しますとって持っていっても、行ってみたら免許証にパンチで穴開けて終わりみたいな。証明書はもう豊岡署に行ってく

ださいとって、そういう、年寄りなんかそこまで行くのがおっくうで、結局証明書を取らんという人も多分結構あると思うんですよ。その辺を何とか、週に1回の免許の更新日ぐらいはそこまでやってもらえるようになっていう、ちょっとお願いをしていただければと思います。

○委員長（太田 智博） 和田課長。

○生活環境課長（和田 哲也） 一応、豊岡警察のほうにちょっと話はさせていただきます。

○委員長（太田 智博） ほかがございませんか。

ないようですので、以上で運転免許返納については終わりたいと思います。

この際、当局、委員から何か発言等はございますでしょうか。ありませんか。

ないようですので、当局の職員の方々は退席をいただいで結構でございます。

今日をもちまして、今期1年間の特別委員会は終わりになります。1年間どうもありがとうございました。

暫時休憩します。

午前10時01分休憩

午前10時05分再開

○委員長（太田 智博） 委員会を再開します。

続いて、(3) 委員会の運営方針についてです。
委員会重点調査事項をSide Books上の本日のフォルダーの次第等の資料4ページに配信しております。重点調査事項について、皆さん、ご意見等ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（太田 智博） ないですか。

特にご意見がないようですので、当委員会の重点調査事項は現行のとおりとし、変更しないことにしたいと思います。異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（太田 智博） 異議がないようですので、そのよう決定いたしました。

次に、(4)の委員会調査中間報告書についてを議題といたします。

今期も間もなく1年の任期を終了しようとしておりますので、この際、9月定例会の閉会日に当委員会の中間報告を行いたいと思いますが、異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（太田 智博） 異議がないようですので、そのように決定しました。

それでは、過日配信しました中間報告（案）につきまして、修正等の意見はございませんでしょうか。ご意見がありましたら、ご発言をお願いをしたいと思います。

Side Books上、本日のフォルダーの委員会中間報告（案）を配信しておりますので、ご覧いただけたらと思います。

意見等ございますでしょうか。ないですか。

清水委員。

○委員（清水 寛） ささいなことなんですけど、2番の重点調査事項の5番目、自家用有償旅客運送等に関することの前の二重丸がゴシックなんです。二重丸の丸が、これだけがゴシックになっとなって、太いんです。

○委員長（太田 智博） なるほど。普通の丸にしてということですね。

○委員（清水 寛） そうそう。何か意味があるんだっいたらいいんだけど。

○委員長（太田 智博） ないです。今回新たに追加した項目ではあるんですけど。

○委員（清水 寛） なるほど。

○委員長（太田 智博） ほかはございますでしょうか。

特にないようでしたら、今の意見も含めまして、中間報告書については正副委員長に一任願いたいと思いますが、異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（太田 智博） 異議がないようですので、そのように決定しました。

続いて、（5）番、管外行政視察調査報告書についてを議題といたします。

こちらでも過日配信をさせていただいております。

修正等のご意見はございませんでしょうか。ご意見がありましたら、ご発言をお願いをしたいと思います。

○委員（須山 泰一） 1つ。

○委員長（太田 智博） 自分のやつですかね。須山委員。

○委員（須山 泰一） 自分が書いたやつです。だから、一番最後のページですけど、調査項目、ちょっと地域公共交通に実現に向けてとなっとなって、これ、間違ってます。地域公共交通の、のです、実現に向けてに直してください。

○委員長（太田 智博） 調査項目のどこですね。

○委員（須山 泰一） そうそう。

○委員長（太田 智博） 地域公共交通にじゃなくって、地域公共交通の実現に向けてですね。

○委員（須山 泰一） はい、そういうタイトルでした。すみません。

○委員長（太田 智博） それ以外ございませんでしょうか。

特にないようですので、管外行政視察調査報告書についても正副委員長に一任願いたいと思いますが、異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（太田 智博） 異議がないようですので、そのように決定しました。

なお、この中間報告、視察報告につきましては、今期定例会閉会日に配信する予定となっておりますので、ご承知おきください。

この際、委員の皆様から何か発言ございますでしょうか。

須山委員。

○委員（須山 泰一） 1点。

○委員長（太田 智博） 1点。

○委員（須山 泰一） 1点。冬でしたか、イナカーの各地区のコミュニティでの説明会を回ったと思うんですよ。もう大分前の話ですけど、委員会発足当時。清水委員あたりが丁寧に八代や三方の報告書をまとめとってくれたなというのがあって、最近ちょっと、そこら辺振り返る機会があったんですけど、

僕は高橋だったかな、但東1か所行きましたけど、そういうのもまとめなあかんと思いつながら今に至ってしましまして申し訳ないのと、本来はどっこのもそろえば、荒木委員も1つ書いとったかもしれんけど、違うか。あれは本来貴重なものでした。

○委員長（太田 智博） それは須山委員が全体のやつをまとめていただけるといことですか。

○委員（須山 泰一） いや、そんなことまで。あのときちょっとあまり、三方とか八代、行きたくて行けなかった時期なんで、ありがたかったです。

○委員長（太田 智博） 分かりました。いいご意見ありがとうございました。

○委員（須山 泰一） はい。

○委員長（太田 智博） ほかがございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（太田 智博） ないようですので、以上をもちまして今期の委員会を閉会をいたします。皆さん、お疲れさまでした。

午前10時10分閉会
